



NPO 法人ピピオ子どもセンター
設立5周年記念シンポジウム記録誌

居場所のない子どもたちの スタートラインづくりのために



2016年6月

NPO 法人ピピオ子どもセンター／公益財団法人マツダ財団

はじめに

ピピオ子どもセンターは、今日帰る場所のない子どもたちのためのセーフティネット構築に取り組んでいる NPO 法人です。

私たちは、2011 年 1 月に NPO 法人ピピオ子どもセンターを設立しました。その後、2011 年 4 月に子どもシェルター「ピピオの家」(女子用)、2014 年 9 月に自立援助ホーム「はばたけ荘」(男子用)を開設し、帰る場所がなく困難を抱えた子どもたちが緊急的に避難し、自立を目指す場を提供してきました。

こうして、設立以来 5 年間、ひたむきに走り続けて参りましたが、法人設立 5 年を迎え、少し目線を上げ、これまでの歩みを振り返り、これからの活動を考える場を持ちたいと、2016 年 1 月 24 日に、設立 5 周年記念シンポジウム「居場所のない子どもたちのスタートラインづくりのために」を開催しました。

シンポジウムには、児童福祉関係者から市民のみなさままで幅広くお集まりいただきました。そして、活動紹介、講演、パネルディスカッションを通じて、多くの取り組み事例や課題が紹介されました。こうして参加者全員で作上げた貴重なこの瞬間を、記録に留めておきたいと、記録誌としてまとめることといたしました。

本誌が、同様の理念に向かって今日も挑戦を続けている私たちの仲間たちのもに届けば幸いです。

2016 年 1 月

NPO 法人ピピオ子どもセンター理事長 弁護士 鵜野 一郎



ピピオってなに？

ピピオとはラテン語で“ひなばと”を意味します。はとは平和の象徴であり、子どもたちに大きくはばたいてほしいとの願いから名づけられました。

目 次

I. 開催概要	1
1. 開催の目的, 方法	1
2. シンポジウムでの主な論点	2
3. 実施結果(参加者のアンケートより)	3
4. 今後の展望	4
II. シンポジウム記録	6
開会, ごあいさつ	6
第1部 活動報告 ～これまでの歩みそしてこれからの活動～	8
1-1. 「NPO 法人ピピオ子どもセンターの活動の歩み」	8
NPO 法人ピピオ子どもセンター事務局 弁護士 寺西 環江	
1-2. 「スタートラインプロジェクト活動報告」	14
公益財団法人マツダ財団 世良 和美	
2. 子どもシェルター「ピピオの家」退居者の声	23
子ども担当弁護士 儀保 唯	
3. 講演「子どもが生きていくことを支えるケア～小規模施設における統一的ケアの必要性」	24
広島国際大学医療福祉学部准教授 岡本 晴美氏	
第2部 パネルディスカッション	39
閉会, ごあいさつ	75
III. 当日のアンケート	76
資料編	85
I. ピピオ子どもセンターについて	86
1-1. ピピオ子どもセンターの概要	86
1-2. 活動内容	86
1-3. 沿革	87
1-4. 役員体制	87
1-5. ピピオ子どもセンターの活動記録 (設立時から現在まで)	88
1-6. 「ピピオの家」「はばたけ荘」利用実績	90
II. スタートラインプロジェクトについて	91
1-1. スタートラインプロジェクトの概要	91
1-2. プロジェクトの活動内容	91
1-3. プロジェクトとしての今後の課題	93
1-4. 「スタートラインプロジェクト」の事業推進体制	94
III. 調査・研究実績	95
1. 平成 23(2011)年度報告書	96
2. 平成 24(2012)年度報告書	102
3. 平成 25(2013)年度報告書	105
4. 平成 26(2014)年度報告書	112

